

若草プロジェクト

2019

シンポジウム



基調講演 山内マリコ
物語と女性

開会あいさつ 若草プロジェクト事業報告

村木厚子 (代表呼びかけ人)

牧田 史 (事務局長・理事)

京都からの報告

齋藤常子 (京都府更生保護女性連盟会長、京都わかさねっと代表理事)

『困難な問題を抱える女性への支援を考える検討会(厚生労働省)』で見えてきた課題

堀 千鶴子 (城西大学教授 検討会座長)

横田千代子 (婦人保護施設いずみ寮施設長 検討会構成員)

進行 大谷恭子 (代表理事)

2019年 10月 22日 火曜 (祝日)

開場 12時30分

開会 13時30分～閉会 16時50分

開会の30分前までにおいでください

また、天皇陛下即位パレードのため、会場付近の混雑が予想されますので早めにお出かけください。

会場: 大妻女子大学千代田キャンパス大妻講堂

東京都千代田区三番町12番地 <http://www.otsuma.ac.jp/access/chiyoda> (地下鉄半蔵門駅徒歩5分またはJR・地下鉄市ヶ谷駅徒歩10分)

資料代 3000円 学生 1000円 当日受付にてお支払いください。

お申込み: HP または FAX (裏面の申込用紙にご記入のうえファクスしてください。)

● 若草プロジェクト 2019 シンポジウム登壇者プロフィール ●



山内 マリコ

1980年富山県生まれ

2008年「女による女のための R-18 文学賞」読者賞受賞

2012年『ここは退屈迎えに来て』でデビュー。

主な著書に『アズミ・ハルコは行方不明』『あのこは貴族』。

最新刊『あたしたちよくやってる』、ラジオパーソナリティーとしても活躍。

● 『若草プロジェクト』 について ●

『若草プロジェクト』は虐待、性被害、貧困などによって生き難さを抱える少女や、若年女性の支援を目的として2016年春、瀬戸内寂聴、村木厚子らの呼びかけによって始められました。

つなぐ（LINE相談の実施、若草ハウスの運営、企業と支援の現場を結ぶ活動、若草メディカル基金）、まなぶ（『女の子の今』を知り『信頼される大人』になるための連続講座の開催、少女、若年女性を支援するためのハンドブックの作成・頒布）、ひろめる（シンポジウムの開催、広報活動）の3つの事業をとおして支援者のネットワークを作っています。

この活動に賛同してくれるみなさまを募集しています。

会 費

賛助会員 年1口1万円（賛助企業は5口以上でお願いいたします）

申込先 ゆうちょ銀行 10170-85054551 ワカクサプロジェクト

（銀行からのお振り込みの場合 支店名 0一八 口座番号 8505455）



代表呼びかけ人

瀬戸内寂聴



代表呼びかけ人

村木厚子

若草プロジェクト 2019 シンポジウム申込フォーム（締切 10月10日）

定員に達しお断りする場合はご連絡いたします。

フリガナ 氏名	所属	電話番号
住所	e-mail	
参加の動機を 簡単にお書きください		
この講座をどこで知りましたか？		
若草プロジェクトの連続講座、シンポジウム等のご案内をお送りしてよろしいですか？（はい・いいえ）		

※本シンポジウム・連続講座以外
にはいただいた個人情報を利用しません

FAX 03-6869-3231

お問い合わせ wakakusa@wakakusa.jp.net

HP からの申込み

<http://wakakusa.jp.net/seminar/>
(ページ最下部に申込みフォームがあります)

